



書道家  
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉  
山田五郎

×



第三十三筆

吾唯足知

われ、ただ足を知る——。人間、足りないと思うときりがないから、今あるものに満足して生きるべき、といった意味に理解しています。ビジュアル的にもよくできた四字熟語で、足の字の口部分を大きくして、上に五、右にスイ、左に矢を書くと、穴あき銭のような丸いデザインに収まります。中学の頃、京都の竜安寺で、口部分を手水鉢にしてこの四文字を刻んだ蹲を見て気に入りました。物質的に豊かな今の日本で、精神的に満たされないのは、「足るを知る心」を忘れていないからではないでしょうか。

武田双龍

私事です。朝起きてすぐに、トイレ掃除と庭掃除をするのが日課です。当たり前にあるものへの感謝を忘れないように心がけています。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。  
<http://so-ryu.com/>